



かけ はし  
懸 橋



八甲田連峰と東北新幹線が背景の当町南部地区の米収穫風景

- ◆第3回定例会・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2～4ページ
- ◆一般質問（3人）・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5～7ページ
- ◆どうなったあの質問・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8ページ

# 定住自立圏形成協定を可決

八戸市との間に、都市機能及び生活機能の確保・充実を図り  
経済基盤の整備を促進することにより、魅力あふれる定住自立圏を形成する



平成21年 第3回定例会

平成二十一年第三回定例会は、九月四日から九日までの六日間の会期で開かれ、定住自立圏形成協定の締結、健全化判断比率及び資金不足比率の報告、百石中学校改築事業工事請負契約の締結、平成二十一年度一般会計及び特別会計の補正予算、平成二十一年度一般会計及び特別会計の決算認定など、報告二件、議案二十三件、認定十一件が上程され、いずれも原案のとおり可決・認定しました。

一般質問には、三人の議員が登壇し、町当局の所見を求めました。

## 主な議案の内容

### ◆定住自立圏形成協定の締結

八戸市との間に、都市機能及び生活機能の確保・充実を図り経済基盤の整備を促進することにより、魅力あふれる定住自立圏を形成するものです。

### 【主な取組みの内容】

- ① 八戸市立市民病院にドクターカーを導入する。
- ② 八戸市立市民病院に設置されている地域周産期母子医療センターにおけるハイリスク妊婦及びハイリスク新生児の受入体制を整備する。
- ③ 八戸市が実施している各種子育て支援事業の対象区域を拡大し、圏域全体とする。
- ④ 農業体験情報、援農情報、栽培技術情報及び農地情報を相互に提供し合う。
- ⑤ 各種講座等の開催情報を相互に提供し合う。
- ⑥ 公共交通の維持、確保を図る。

- ⑦ ブロードバンドゼロ地域等に光ファイバー等のインフラの整備を行う。

### ◆平成二十年度健全化判断比率及び資金不足比率の報告

町の健全化判断比率の四項目及び資金不足比率はいずれも良好であると報告されました。

平成20年度健全化判断比率（基準値より低いと良好な状態）

健全化判断比率		早期健全化基準	備考
実質赤字比率	黒字	14.41%	黒字 1.80%
連結実質赤字比率	黒字	19.41%	黒字17.16%
実質公債費比率	19.4%	25.0%	基準値以内
将来負担比率	175.9%	350.0%	基準値以内

平成20年度資金不足比率（基準値より低いと良好な状態）

対象会計	資金不足率	経営健全化基準	備考
病院事業会計	黒字	20.0%	資金不足に至らず良好
公共下水道事業特別会計	黒字	20.0%	
農業集落排水事業特別会計	黒字	20.0%	

### ◆国民健康保険条例の改正

健康保険法施行令の一部改正に伴い、本年十月一日から平成二十三年三月三十一日までの暫定的な措置として出産育児一時金を四万円引き上げするものです。（三十五万円を三十九万円とする。）



◆百石中学校改築事業建築工事請負契約の締結

- ・契約金額 九億六千七十五万円
- ・契約の相手方 株式会社 柏崎組

◆百石中学校改築事業電気設備工事（強電設備）請負契約の締結

- ・契約金額 九千三百二十四万円
- ・契約の相手方 興陽電設 株式会社

◆百石中学校改築事業機械設備工事（給排水衛生設備）請負契約の締結

- ・契約金額 六千三百五十二万五千円
- ・契約の相手方 有限会社 松本水道

◆百石中学校改築事業機械設備工事（空調換気設備）請負契約の締結

- ・契約金額 五千五百五十四万五千円
- ・契約の相手方 株式会社 北奥設備

## 21年度補正予算の内容（21年9月補正）

（単位：千円）

会 計	補正前	補正額	補正後	補正の主なもの	
一 般	9,860,618	329,881	10,190,499	一般廃棄物焼却施設解体工事費	39,900
				地域雇用創出推進基金積立金	99,550
				町道整備工事費	△11,800
				町道舗装補修工事費	83,000
				公共下水道事業特別会計繰出金	△15,317
				全国瞬時警報システム整備工事費	8,600
国 保	2,607,070	47,713	2,654,783	国保診療報酬給付費	13,500
				国保後期高齢者支援金	12,617
				療養給付費交付金返還金	15,080
老人保健	10,180	5,031	15,211	国庫返還金	3,053
奨学資金	18,253	△2,771	15,482	奨学資金貸付金	△3,180
公 共 下 水	1,206,802	6,879	1,213,681	町債償還元金	9,596
				町債償還利子	△3,874
集 落 排 水	104,487	440	104,927	農業集落排水維持適正化事業費負担金	440
介 護 保 険	1,594,033	56,710	1,650,743	介護予防サービス等給付費	10,635
				高額介護サービス等給付費	11,973
霊園事業	14,295	0	14,295		
公共用地	47,650	0	47,650		
後期高齢	135,633	△6,338	129,295	後期高齢者医療広域連合納付金	△6,716
病院事業	1,338,248	5,524	1,343,772	医療機器等購入費	5,524
総 計	16,937,269	443,069	17,380,338		

## 平成20年度一般会計と特別会計決算を認定 決算特別委員会

九月八日、九日の二日間、議員全員で構成する決算特別委員会（沼端 務委員長）が開かれ、おいらせ町の一般会計、特別会計歳入歳出の各決算を審査しました。

各決算について、委員と町当局との活発な質疑・応答が行われた結果、いずれも認定すべきものと決定し、九月九日の本会議において沼端委員長が報告しました。



決算特別委員会の  
議事の進行を務める  
沼端 務委員長

# 平成20年度 各会計の歳入歳出決算状況

(単位：円)

会 計 別			歳 入 総 額	歳 出 総 額	差 引 額
一 般 会 計			9,616,623,372	9,363,930,870	252,692,502
特 別 会 計	国民健康保険特別会計		2,647,889,734	2,623,301,356	24,588,378
	老人保健特別会計		194,553,187	189,526,519	5,026,668
	奨学資金貸付事業特別会計		19,567,020	19,384,320	182,700
	公共下水道事業特別会計		1,328,558,725	1,320,775,351	7,783,374
	農業集落排水事業特別会計		106,528,910	104,134,922	2,393,988
	介護保険特別会計		1,661,628,842	1,627,571,846	34,056,996
	霊園事業特別会計		13,549,734	13,536,978	12,756
	公共用地取得事業特別会計		47,778,905	46,931,213	847,692
	後期高齢者医療特別会計		125,743,587	125,007,471	736,116
公 営 企 業 会 計	病 院 事 業 会 計	収益的収支	973,048,294	926,154,795	46,893,499
		資本的収支	68,339,000	153,234,400	▲84,895,400
合 計			16,803,809,310	16,513,490,041	290,319,269

町農林水産課の立ち会いのもと、現在進められている百石漁港整備事業の進捗状況及び計画について説明を受け、現地調査を行いました。

担当課からは「平成十二年度から平成二十二年度の全体事業として、四十三億五千万円（国が十分の五、県が十分の四、町が十分の一の負担割合）の見込みで、二十二年四月から一部供用開始となる。」との説明がありました。

委員からは、町への移管、維持管理等の質問があり、町の負担を心配する声と水産振興に期待する声がありました。



百石漁港整備の状況



百石漁港の現地調査

百石地区地域水産物供給  
基盤整備事業について

平成二十一年八月二十一日、産業民生常任委員会（西館芳信委員長）を開催し、調査を行いました。

## 産業民生常任委員会調査報告



縄文（ふるさと）の森の現地調査

町企画課、地域整備課の立ち会いのもと、整備計画の説明を受け、現地調査を行いました。

担当課からは「現在、整備計画の見直しを検討している。」との説明がありました。

委員からは、箱物は中止し、金をかけず、景観を優先する計画へ変更したほうが良いとの意見がありました。

平成二十一年九月十五日、調査を行いました。

「縄文（ふるさと）の森」  
整備計画予定地の現状と  
利用計画について

# 一般質問



西館 芳信 議員

## 外人ハウスの 実態等について

**質問** 三沢基地の軍人、軍属用のハウスが当町にも、相当数、建築されたが、居住者の現状を含め、町との関わり等の観点から、その実態を問う。

- (1) ハウスの実態把握は？
- ① 把握している町内の外人ハウス、居住者の数は？
- ② 相当数のハウスが存在することのメリット、デメリットは？（例えば、都市計画施策の推進上、税収上、あるいは防犯上等）

- (2) 居住者と行政（町）、町民の関わりについて
- ① 特別な身分で業務も機密性を有していることから、町民はもちろん、一般の外国人と比較しても、普通に地域居住者として処遇することには難しいものがあると思う。

これまでの経験上、いかがか？

② 近隣の一般住民との調和、防災、防犯上等の観点から、これまでの行政指導はどのように行われてきたのか？今後の方針を含めて問う。

**答弁** 本年三月三十一日現在、町内には七百五十二戸の外人ハウスがあり、居住者数は軍人・軍属が六百五十三人、その家族が七百二十一人、計千三百七十四人となっている。

税収上では本年度、基地対策関係の交付税として、九千二百二十八万四千円が見込まれ、固定資産税効果は三千万程度だ。一方、日常生活面

から見ると三沢警察署管内の外国人による交通事故発生件数は、平成二十年は二百六十件となっている。

これらのことから、米軍人等の基地外居住がもたらす経済産業への効果は大きいものがある反面、一方では、交通事故が増加傾向にある等、町民の生命と財産を守る立場にある町としては危惧しているところだ。

しかし、日米地位協定により、米軍の治外法権がかなりの範囲で認められているため一般住民と同様な行政の適用



町内に752戸ある外人ハウス

には大きな壁があることは確かなので、今後、米軍、三沢警察署、東北防衛局三沢防衛事務所など、関係団体と連携し、町民の生命、財産と人権を守り、米軍人との共存共栄が図られる取組を実践していきたい。

## 廃棄物の処理、 とりわけリサイクル の取組について

**質問** 牧歌的風情が色濃く、他に誇れる当町の大地であるが、よく見ると、田畑には廃ビニールや空き缶、海浜には漂着プラ等が散乱している。

- これについては農業委員会農水課等が適宜、対策を講じてきたところであるが、時代は処理からリサイクルへ、それも行政が範を示す時へ来ている。次の二点を問う。
- (1) 町のリサイクルの取組は？
  - ① 家庭、事業所等、全ての産廃物等に対するこれまでの取組実績と今後の施策は？
  - ② 町内へのリサイクル拠点

の構築は？

最新の技術は泥がついたままでの塩化ビニール等の油化が可能となっている。

これらや、家庭から出る廃油等のリサイクル拠点を農協、商工会、町内会等と共同してでもいいから、町に構築し、稼働させる気はないか？

**答弁** 一般廃棄物については、町環境美化行動計画の十六の基本施策に基づき取組んでおり、平成二十年度の排出量は七千八百二十六トン、うち、資源化量は千五十七トンでリサイクル率十三、二%で全国の十九、六%は下回っているものの、県の平均値にあるので、町総合計画の目標年次の平成二十五年度までには目標の十六、二%を達したい。

二点目については、確かに全国の一部自治体には家庭の廃油を加工して、公用車の燃料にする等、取組を見せるところもあるが、維持管理や処理コスト等の問題があるので、町新エネルギービジョン策定委員会で調査・研究をしていきたい。



# 一般質問



馬場正治 議員

## スクールバスの利用の実態と利用基準の緩和について

**質問** ① 現在運行されているスクールバスの停車地点および定員に対する乗車率は？

② 運行経路や停車地点についてこれまでの見直しは？

③ 運行経路周辺に住む児童生徒の保護者の希望により運行経路や停車地点を見直すとともに、席に余裕があれば遠距離と低学年を優先してバスを利用できるように利用基準を緩和する考えは？

**回答** ④ 利用基準緩和により利用者を増やして自家用車送迎による学校周辺の交通混雑解消を図ることや、部活動帰りにスクールバスを利用できるように検討できないか？

① 運行コース、停車地点、乗車率は下表のとおり。

② これまでの見直しは、豊栄地区の停車地点をコミュニティセンター前に移している。

③ 運行経路については、交通状況を勘案しながら学校側とも協議して設定していきたい。利用基準の緩和については、空席があるからと利用させた場合、冬期間は現在でも満席なので混乱が予想され、基準があいまいになるため対応が難しい。

④ 学校では体力向上のためにも通学は徒歩でとお願いをしている。その結果、ここ数年は自家用車での送迎が減ってきているようだ。中学校の部活動終了後のバスによる下校については各校の実態を調査し検討したい。

### 通学バスの運行経路／停車地点／乗車率／関連費用

期間	バス	経路	停車地点	乗車率
4月～11月	1号車 定員42名	苫米地→豊栄→木ノ下小 木ノ下小→豊栄→苫米地	土岐商会前、旧種市建業前、八戸北家前、豊栄コミュニティセンター前	36% (15名)
12月～3月	1号車 定員42名	苫米地→豊栄→向山→木ノ下小 木ノ下小→向山→豊栄→苫米地	土岐商会前、旧種市建業前、八戸北家前、豊栄コミュニティセンター前、向山駅前	100% (42名)
	2号車 定員42名	秋堂→苗振谷地→中野平→下田中 下田中→秋堂→苗振谷地→中野平	耳取、秋堂、苗振谷地、中野平	52% (22名)
バス関連費用(年間)		1号車 2,911,000円 2号車 1,301,000円	計 4,212,000円	

## スクール・ニューデール構想への取組について

**質問** 国の経済危機対策に盛り込まれた「スクール・ニューデール構想」によれば、公立学校への太陽光発電や節水型トイレ、省エネ機器導入によるエコ改修について、事業費の九三〇～九五五%以上を国が負担することにより、地方公共団体の実質的負担が二・五～三・三五%まで軽減されるとしているが、当町の取組は？



豊栄コミュニティセンター前の通学バス利用風景

**回答** 木内々小学校の耐震化と合わせて、発電量が十九キロワット程度の太陽光発電導入に取組んでおり、ほかに町内全校に電子黒板と校務用、学習活動用のパソコン配置を進めている。

エコトイレの導入については既に募集が終わっており今回の補助事業は活用できないが、これからは考えていきたい。



19KWの太陽光発電が予定されている木内々小

# 一般質問



沼端 務 議員

## 政治姿勢について

**質問** おいらせ町誕生から三年六ヶ月、町政運営の評価と今後の課題、また、来春の三月任期を迎えるが、出馬の意思について、お伺いいたします。

**答弁** 平成十八年三月、新町建設計画策定の責任者として実行と実現を果たすべく、多くの町民からのご信任をいただき、町政のかじ取りを務めることになり、行政の究極の目標であります『町民の幸せ』を願い、一日一生の思いで最善を尽くし、日々全身全

霊を注いで三年六ヶ月の間、町行政の推進に努めてまいりました。

その実績の一端としては、「行財政改革の継続と強化」、「自治基本条例の制定等住民の目線に立った行政の推進」、「指定管理者制度の導入検討」、「職員の意識改革による行政の効率化」、「消防・防犯のさらなる整備充実」、「学校教育施設の整備充実及び奨学資金の拡充等あすを担う人材の育成」、「橋梁の年次補修計画」、「下水道の整備拡充と公園・緑地等住環境の整備」、「土地利用の見直し」、「保健・医療・福祉の充実」、「企業誘致による町の活性化と雇用促進」、以上、これまでの主な実績であります。

町長として任期も残すところ半年となり、これまで進めてまいりました施策や町政発展への取り組みについて、一定の成果と評価しつつも、課題も山積していると認識をいたしております。

町民の皆様から信頼される公平・公正な町政運営とともに、町民の皆様との協働の取り組みによる新しいまちづくりを目指し、町長としてのこ

れまで培ってきた経験を生かし、おいらせ丸のかじ取り役に挑戦するべく、固い決意をもって出馬に臨む考えであります。

## 教育環境について

**質問** 「全国学力テスト」の活用方法についてお尋ねします。

**答弁** 学校においては、結果の分析を行い、明らかにした課題を授業改善に取り組んで、児童生徒の学習状況改善、個に応じた指導等を実施し、さらに、教員による校内研究会を継続的に開催し、教員みずからの授業向上を図っております。

また、児童生徒の生活行動様式と学力との相関関係を洗い出し、家庭連携のもと生活指導にも活用されて

おります。

教育委員会としては、資料の作成、教員研修会実施、校長面談等を通して指導改善に活用しております。

**質問** 学校給食の今後について、お伺いいたします。

**答弁** 教育委員会や町で協議を進め、センター方式を確認し、平成二十年度の所信表明で明らかにしているところであります。

学校給食センターの整備計画については、平成二十五年

度に実施設計を行い、二十六年度に給食センター建設工事を行うことで計画を進めております。

なお、これらの財源としては、合併補助金及び合併特別債を予定しております。

また、給食センターの運営方法や建設場所については、まだ未定であり、具体的にはこれから検討してまいりたいと考えております。



整備計画が検討されている学校給食センターの外観（上）と調理室（下）





# どうなった？あの質問

## 質問

二川目町内稲荷団地、二川目北団地を結ぶ旧県道約300mの道路幅が非常に狭く、交通に支障があります。整備の考えを伺います。

## 答弁

「生活関連道路整備計画」にも整備路線として位置づけています。今後、本計画に基づき、地域住民の協力を得ながら、産業民生常任委員会と相談し、路線決定し、整備を進める考えです。

## 経過

平成21年9月、二川目旧県道（町道黒坂・三沢線）の拡幅工事が完成しました。



平成21年9月に完成した二川目旧県道

これまで定例会で行われている一般質問の中から、今回は平成二十年九月議会で議員が質問した二川目旧県道拡幅について経過を調査しました。

## 編集後記

二十年度の決算を認定する九月定例議会も活発な質疑や提言で時間延長しながら終了した。自主財源の確保が厳しい中、年々増加する各種税や使用料等の未払いが目立つ。納税や支払いの義務を果せないということは、国の政策に問題があるのでしょうか。去る九月十六日「民主党政権」が発足し、日本の政治にとって歴史的な政権交代となった。政策等の見直しによって今後私達の暮らしや、社会全体に、どのような影響が出るのか期待と不安が交錯するのは私だけではないのではと思っている。

新型インフルエンザの感染が拡大、油断せず、一人ひとりが「自分はうつらない」「かかったら他人につかない」という気持ちで対処することが大切。政権公約の実現と共に、すべてが良い方向へと願っている。議会広報編集委員 種市 恭子 記

## 第四回定例会のお知らせ

十二月四日（金）開会予定  
（日程は変更になることがあります。）  
会場は本庁舎三階の議場で、開始時間は原則十時からです。

### 問合せ

議会事務局（本庁舎三階）  
電話 〇一七八―五六―二二二二